

## 建築設計演習 B (Architectural Design Studio B)

担当教員名	坂戸 省三、神家 昭雄	
学科・専攻、科目詳細	建築学科 4年 後期 4単位 学修単位 演習	
学科のカリキュラム表	専門科目 必修科目	
共生システム工学の科目構成表	基礎工学科目 設計・システム系	
学習・教育目標	共生システム工学	D-2(55%) E-1(10%) F-1(35%)
	JABEE基準1(1)	(d)(e)(f)
科目の概要	建築設計演習IVBは、計画、環境、構造分野の専門科目で得られた成果を総合化し、まとめあげる基礎的能力を育成することを目標としている。建築設計に関して学んできた基礎的事項を活かし、機能的に複雑な建築物の空間設計演習を実施する。課題対象となる建築や空間の社会的位置づけや発展過程等を学び、各学生が望ましいと考える設計の方向性を絞り込んでいく学習のプロセスを多様な情報により支援する。	
テキスト(参考文献)	演習課題の内容に応じて適切な資料を印刷し配布する。	
履修上の注意	日常から建築分野に関わる多様な情報に対する関心を高め、建築物の現地見学を自主的に実践すること。 設計に当たってはスタディ模型などを使って空間を立体的に捉えていくこと。自分がその中を歩き回り、住み込んでいること等をイメージし、その空間を体感しつつ設計すること。	
科目の達成目標	複雑な与条件を考える。 庁舎建築の設計。多様な人々の動線、様々な機能空間のゾーニング等々を合理的にまとめ上げ、建築空間として構成することができる。 集合住宅の設計。プライベート・セミプライベート・セミパブリック・パブリックという段階的空間構成をもち、住民同士が自然と互いに顔見知りとなり、住民が地域に帰属意識をもつことができる集合住宅を設計できる。 建築設計としてまとめた提案内容を分かりやすく表現し、質疑・意見に対して討論できる。	
自己学習	目標を達成するためには、授業以外に次の自己学習が必要である。1)課題内容を的確に理解し、設計のプロセスを自主的に進めること。2)建築分野に関わる多様な情報に対する関心を高め、建築物の現地見学を実践する。	
目標達成度(成績) の評価方法と基準	合格の対象としない欠席条件(割合)	1/3以上の欠課
	各課題に対して提出された設計作品および途中経過の成果について、設計作品(70%)と設計過程の中間に提出する草案(エスキス)(20%)、完成した設計課題作品について発表、講評の機会を設け、発表(10%)を評価する。 総合評価として60%以上達成したものを合格とする。	
連絡先	sakato@akashi.ac.jp	

授業の計画・内容	
第1週 第1課題「庁舎の設計」その1	課題説明。草案(エスキス)作業に着手し、計画設計に必要な情報を収集する。
第2週 第1課題「庁舎の設計」その2	草案の完成度を高めながら、指導教員との意見交換を活発に行う。エスキスを完成し提出する。
第3週 第1課題「庁舎の設計」その3	エスキスの講評会を開催し、草案の手直しを行う。CADによる設計作業を開始する。
第4週 第1課題「庁舎の設計」その4	CADによる設計作業II 敷地内での配置、建築の構成をまとめる。
第5週 第1課題「庁舎の設計」その5	CADによる設計作業III 配置図、平面図、断面図、立面図等をまとめ、各図面間の整合性を確認する。
第6週 第1課題「庁舎の設計」その6	CADによる設計作業IV 設計図全体の完成度を高め、完成し提出する。
第7週 第1課題「庁舎の設計」その7	講評会を開催し各学生が作品内容を説明する。修正が指摘された部分について手直しを行う。
第8週 第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その1	まちづくりおよび集合住宅に関する講義。敷地環境と建築法規制に関して情報収集を行う。草案(エスキス)作業に着手し、計画設計に必要な情報を収集する。
第9週 第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その2	建築のおよその規模を定め、日影規制の点検を行う。草案の完成度を高めながら、指導教員との意見交換を活発に行う。エスキスを完成し提出する。
第10週 第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その3	エスキスの講評会を開催し、草案の手直しを行う。CADによる設計作業を開始する。
第11週 第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その4	CADによる設計作業II 敷地内での配置、建築の構成をまとめる。
第12週 第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その5	CADによる設計作業III 空間構成を明らかにした平面図、断面図等をまとめる。
第13週 第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その6	CADによる設計作業IV 配置図、平面図、断面図、立面図等をまとめ、各図面間の整合性を確認する。外観や景観設計を行う。CGによる図の採用で表現を充実する。
第14週 第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その7	CADによる設計作業V 設計図全体の完成度を高め、完成し提出する。
第15週 第2課題「まちづくりと協調する集合住宅の設計」その8	講評会を開催し各学生が作品内容を説明する。修正が指摘された部分について手直しを行う。
期末試験	